

2019年8月28日

報道関係各位

株式会社 北海道建設新聞社
一般財団法人 日本不動産研究所

札幌圏のクマ出没が見える化した電子地図のご案内

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

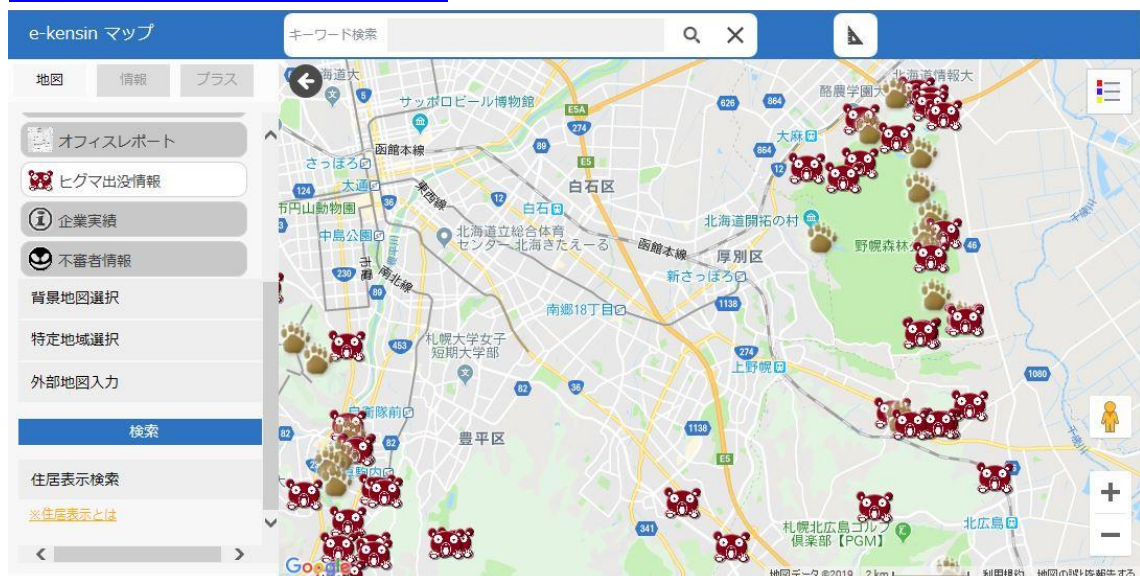
北海道建設新聞社と日本不動産研究所は共同で、土地に関するさまざまな情報を「見える化」した電子地図情報プラットフォーム「e-kensinマップ」を開発いたしました。活用モデルとして、多発するクマの目撃情報をまとめた特設ページを公開いたしましたので、お知らせいたします。

市町村の公開情報は、隣接市町村の情報をカバーしていません。近くの隣接地でも、情報が途切れ、電子地図に反映されていないなどの使いにくさがありました。e-kensinマップであれば、境界に関係なく情報を閲覧できるため、周辺の動向を総合的に把握することが可能です。

無料公開で、スマートフォンなど携帯端末からの閲覧にも対応しています。周辺の状況把握や訪れる先の情報確認など、e-kensinマップのユーザーであるビジネス利用者をはじめ、一般市民による利活用を想定しています。

クマ目撃情報の特設サイトは以下の通りです。

<https://e-kensin-map.net/bear/>



□「e-kensinマップ」について

北海道建設新聞社と日本不動産研究所が共同開発した、電子地図をベースにした情報共有プラットフォームです。土地に関する様々な情報を電子地図上に集約し、直感的に把握できるようにしました。都市開発のニュース、都市計画情報、地番図、防災情報など土地利用や不動産開発の分析を中心に情報の集積を進めています。クマ情報は、山岳部の工事などを手掛ける建設業の安全管理の支援を主眼に開設しました。このほか、警察が発表する不審者情報などについても公開しています。

□クマ目撃情報について

目撃情報は、行政機関ホームページなどの公開情報をもとに順次掲載しています。情報に偏りがあるのは、行政機関の情報公開への対応がそれぞれ異なるためです。情報の有無にかかわらずヒグマは、北海道全土に生息しています。都市部のように、これまでなかった場所での目撃情報も増えていきますので、注意が必要です。

行政機関による情報提供、情報公開ツールとしてのお問い合わせは、以下の URL より随時受け付けています。

(URL) <https://e-kensin-map.net/inquiry2.html?mode=2>

本件に関する問い合わせ先
(月～金曜日 9:30—17:00)

株式会社 北海道建設新聞社総務部

Tel : 011(611)6311

URL : <https://e-kensin.net/>

一般財団法人 日本不動産研究所

企画部企画グループ 幸田

電話 03(3503)5330

URL : <http://www.reinet.or.jp/>